

第**4**回 茨城県**がん生殖医療**

ネットワークシンポジウム

2.19

参加費：500円

事前申込不要

**中核化・遠隔地との
ネットワーク**

■ 対象者 ■

茨城県および北関東においてがん治療に従事する医師・生殖医療に従事する医師・がんプロセス受講者・生殖医療やがん治療に従事するコメディカル・臨床心理士、コメディカル、学生

2020年

日時：**2月19日(水) 18:30 ~ 20:30**

筑波大学

会場：**健康医科学イノベーション棟 8階講堂**

主催 茨城県がん生殖医療ネットワーク

共催 茨城県保健福祉部疾病対策課

NPO 法人筑波泌尿器科医療育成支援機構

「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン
関東がん専門医療人養成拠点

問合せ先

Mail: ganpro-jimukyoku@un.tsukuba.ac.jp
筑波大学 医学医療エリア支援室 がんプロ事務局
Tel: 029-853-7316University of Tsukuba Faculty of Medicine
The office of education programs for cancer professionals

※この事業は、茨城県の平成31年度企画提案型がん対策推進事業からの補助金を活用して行っています。



プログラム

18:30
～
18:35

開会の挨拶 岡本 一 先生 筑波学園病院 産婦人科 部長

18:35
～
19:05

第1部

茨城県のがん生殖医療ネットワークの現状 (各15分、質疑込み)

座長 安部加奈子 先生 茨城県立中央病院・茨城地域がんセンター 産婦人科 部長
小林千恵 先生 茨城県立こども病院 小児血液腫瘍科 小児専門診療部 副部長

① 筑波大妊孕性温存外来 女性患者の対応の現況報告 卵巣組織凍結の現状と将来について

川崎彰子 先生 筑波大学産婦人科 准教授

② 筑波大学附属病院における精子凍結保存運用開始1年の成果と課題 古城公佑 先生 筑波大学腎泌尿器外科 助教

5分休憩

19:10
～
19:15

第2部

特別シンポジウム

遠隔地におけるがん生殖医療と保存施設の中核化

座長 石渡 勇 先生 石渡産婦人科病院 院長
西山博之 先生 筑波大学附属病院 副院長・筑波大学腎泌尿器外科 教授
座長によるスライド (5分程度：西山)

19:15
～
19:45

HOPEにおける卵巣凍結保存の中核化

京野廣一 先生 医療法人社団レディースクリニック京野 理事長
HOPE (日本卵巣組織保存センター)

19:45
～
20:15

本邦におけるがん・生殖医療の課題—全国への均てん化を目指して

鈴木 直 先生 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学講座 教授

20:15
～
20:30

質疑・総合討論

20:30

閉会の挨拶